

平成30年度 第1回 自己評価(教職員)アンケート集計表

	評価内容	A%	B%	C%	D%
1 学校 教育 目標	①学校教育目標達成のため、実態に即した学校経営構想《スクールプラン》が作成されている。	83.3	16.6	0	0
	②学校経営構想《スクールプラン》に基づき、全職員が呼吸を合わせ、協力して学校運営が行われている。	66.6	33.3	0	0
	③学年の教育活動が、学校経営構想《スクールプラン》を踏まえたものになっている。	77.7	22.2	0	0
	④PDCAのマネジメントサイクルで教育活動が取り組まれている。	72.2	27.7	0	0
2 学校 経営 ・ 組織	①学校経営構想《スクールプラン》に基づき、各校務分掌が機能している。	83.3	16.6	0	0
	②「相談、連絡、報告」が遺漏なく確実に行われている。	61.1	38.8	0	0
	③会議は、能率的・建設的に行われている。	61.1	33.3	5.5	0
	④安全点検・登下校指導・避難訓練を計画的に行い、安全・安心な環境で生活できるようにしている。	83.3	16.6	0	0
	⑤事件・事故や災害発生の際に、適切で迅速な対応ができるよう役割分担が明確化されている。	77.7	22.2	0	0
	⑥校舎内外の施設設備について定期的に点検し、結果を的確に処理(整理・保全)している。	88.8	11.1	0	0
3 学習 指導 ・ 生徒 指導	①どの子にとっても分かりやすい授業をめざし、基礎基本の「習得」とそれらを「活用」しての「思考力・判断力・表現力」の育成を図っている。(特にすべての学習の基盤となる読み・書き・計算力は9割以上の定着を図る)	42.8	50	7.1	0
	②授業の中で積極的な生徒指導を行い、いじめ・不登校のない学級・学校を目指している。	71.4	28.5	0	0
	③「落合小生活のきまり」「落合小学習のきまり」を学校生活の基とし、ルールを守る態度やその大切さを指導している。	80	20	0	0
	④読書習慣、辞書利用習慣、家庭学習習慣を含めた学習習慣を育成している。	62.5	31.2	6.2	0
	⑤児童会活動を通して、より良い学校生活づくりのために協力して諸問題を解決していく力を育成している。	53.3	46.6	0	0
	⑥通常学級・特別支援学級の連携をふまえ、特別支援教育推進に向け校内支援体制の一層の充実を図っている。	66.6	33.3	0	0
4 地域 との 連携	①地域の人材や施設を積極的に活用している。	76.4	17.6	5.8	0
	②保護者や地域の願いに応えるため、アンケート等を通して学校に対する要望等を聞くなど、情報の収集に努めている。	70.5	29.4	0	0
	③情報を積極的に発信・受信して家庭・地域・関係機関との連携を深め「開かれた学校づくり」を推進している。	70.5	29.4	0	0
	④PTA活動のよりよい推進のため、教師・保護者が積極的に関わるように努めている。	55.5	44.4	0	0
	⑤児童生徒の安全確保に地域・保護者が積極的に関わってもらえるように努めている。	76.4	23.5	0	0
5 学校 の 特色	①個に応じ、特性に対応した指導・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境づくりに努めている。	72.2	22.2	5.5	0
	②地域の特色を教材化し、郷土を知り、誇りに思えるような指導に努めている。	77.7	22.2	0	0
	③「地域ふれあい道徳事業」「小笠原流礼法を活かした心の教育推進事業」に取り組んでいる。	83.3	16.6	0	0

